

○取組の概要

- 平成19年からドラゴンフルーツ等の果実や野菜のジャムの加工・販売
- 果実副産物(蕾)のブランド販売



【取り組むに至った経緯】

- 平成18年に新規就農するにあたり、肥料、農薬をほとんど使わず、高齢者でも栽培可能なドラゴンフルーツに着目

【生じた課題への対応方法】

- 専門家の協力で品質向上を図った。新たに、白ゴーヤー、パッションフルーツなどのジャムを製造
- ジャム、生果を高級食品店、大手百貨店に出荷

【取り組みの効果】

- 売上高
700万円(H19)→4,000万円(H21)
- 雇用数
0人(H19)→3人(H22)
- ドラゴンフルーツの栽培面積
6a(H19)→1ha(H21)

【取り組む際に生じた課題】

- 高糖度のドラゴンフルーツの栽培
- 独特の食感と風味豊かなジャムの製造

【活用した支援施策(補助事業等)】

- 普及センターから商標登録や簿記記帳に関する指導を受け、ブランド化や経営安定化につながった。

【今後の展望】

- 現在は市の共同加工施設を利用しているため、加工施設の整備を検討

成功のポイント！！

○ 販路開拓

就農前の青果小売店勤務の経験と販売先のネットワークを活用し、青果及び加工品の販売が順調に伸びた。

○ 高糖度のドラゴンフルーツと高品質のジャムの製造

大変甘いドラゴンフルーツの生産と、専門家の協力を得て、独特の食感と風味豊かなジャムの製造に成功。また、これまで未利用であった蕾を「ドラゴンの蕾」として商標登録、県外の料理店等に出荷。